船舶事故等調査報告書

平成２５年４月２５日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	２０１２那第５３号
事故等種類	浸水
発生日時	平成２４年１２月２日　２２時００分ごろ
発生場所	沖縄県糸満市喜屋武埼東方沖 喜屋武埼灯台から真方位０９１°１２５.９海里（M）付近 （概位　北緯２６°０２.０′　東経１３０°００.０′）
事故等調査の経過	平成２４年１２月２０日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	漁船　宮福丸、１０.８トン ＯＮ２－０９６２（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	主機、発電機等に濡損
事故等の経過	本船は、船長が１人で乗り組み、操業を終えて喜屋武埼東方沖を航行中、平成２４年１２月２日２２時００分ごろ船長が機関室の浸水を発見した。 船長は、無線で僚船に救助を要請し、本船は、僚船によってえい航されたものの浸水が止まらず、僚船の船長が海上保安庁に救助を要請し、来援した巡視船によって沖縄県南城市当添漁港にえい航された。
気象・海象	気象：天気　雨、風向　北、風力　７、視程　約３Ｍ 海象：波高　約３ｍ
その他の事項	本船は、１１月２１日に糸満市喜屋武漁港を出港し、そでいか漁業を行っていた。 本船は、航行中、機関室に浸水しており、船長が、各部を点検したところ、予備のキングストンバルブのホースバンド付近の亀裂を発見した。 船長は、本船を購入時に機関室内の装備や配線等を新替えし、平成２２年に機関室各部のオーバーホールを実施しており、喜屋武漁港を出港する前に各部の点検を実施していた。 本船は、後日、廃船処理された。
分析	
乗組員等の関与	なし
船体・機関等の関与	あり
気象・海象の関与	なし

判明した事項の解析	本船は、喜屋武埼東方沖を航行中、キングストンバルブのホースバンド付近に亀裂が生じたことから、機関室へ浸水したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、喜屋武埼東方沖を航行中、キングストンバルブのホースバンド付近に亀裂が生じたため、機関室へ浸水したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・船体各部の点検は、船齢を考慮して行うこと。